

## 競技注意事項

1. この記録会は2022年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定により実施する。

### 2. 練習について

- (1) 練習はサブトラックを使用すること。ただし、投てき練習は禁止する。  
フィールド競技の練習は最終招集完了後、役員の手配にしたがって行うこと。
- (2) サブトラックのレーンの使用区分は、1～2レーンを中長距離。3～6レーンを短距離とする。
- (3) ハードルのみ9時00分～9時40分までメイントラックを使用すること。

### 3. 招集について

- (1) 競技者招集場所は、現地招集とする。  
現地（スタート地点・競技ピット）招集とし、招集開始～完了時刻はトラック種目：  
競技開始の30分前～15分前、フィールド種目：競技開始の40分前～20分前とする。  
リレーはバックストレート雨天練習場前でメンバーがそろって招集を受ける。競技開始30分前から15分前とする。  
選手は現地招集場でナンバーカード（学校ゼッケン）・スパイク（ピンの長さ・TR5）の確認を受ける。トラック種目は大会本部が用意した腰ナンバーカード）を右腰につける。
- (2) 時刻は競技日程を参照すること。※競技会場の密をさけるため、最終招集時刻10分前より早く、競技会場にいかないこと。
- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなす。

### 4. 競技運営について

フィールド競技においては、各組とピット位置は下記のとおりとする。

走幅跳	1組(Aピット：バックスタンド側) 2組(Bピット：メインスタンド側)
ソフトボール投	1組(第3、4コーナー内側)

- (1) トラック競技は、全てタイムレース決勝とする。レーン、試技順は、プログラム記載順とする。
- (2) スタートは、イングリッシュコマンドとし、不正スタートを2回目以降にした選手は失格とする。(同組内の選手であれば2回目から対象となる)
- (3) スターティングブロックの使用は認めない。
- (4) 短距離種目は、競技者の安全確保のため、フィニッシュ後も自分のレーンを走る。
- (5) 80mHは、スタートから1台目が13m、9台のハードル間隔が7m、最終ハードルからフィニッシュラインまでが、11mとする。高さは全て68cmとする。
- (6) 走高跳のマット着地は足からとし、背・腰等からの着地試技は無効とする。背面跳は禁止とする。  
バーの上げ方は、次の通りとする。  
6年—1m05～1m20（5cmずつ） 1m23～（3cmずつ）  
5年—1m00～1m20（5cmずつ） 1m23～（3cmずつ）

バーの上げ方は上記のとおりとする。ただし、気象状況等により変更する場合がある。

- (7) 走幅跳は、3回ラウンド制の試技により順位を決定する。
- (8) ソフトボール投は、2回の連続試技により順位を決定する。
- (9) スパイクピンの長さは9mm（走高跳は12mm）以下とする。  
靴底の厚さは短距離およびフィールドにおいては、20mm以下、長距離においては25mm以下とする。

#### 5. 競技場の使用について

- (1) **学校受付 1階正面入り口から引率者のみが入場。**検温、体調管理シート提出、大会参加費支払い、リレーオーダー表提出を行う。**\*選手の体調管理シートを学校単位でまとめ提出し、人数分リボンビラを受け取る。**  
**競技役員受付 1階正面入り口から入場** 検温、体調管理シート提出、競技役員名札、プログラム受け取り リボンビラを受け取る。  
**\*参加証（リボンビラ）をつけていない者は、主競技場及び補助競技場に立ち入ることができない。**
- (2) ウォーミングアップは第2競技場（サブトラック）で行う。  
ただし、器具、用具は持ち込みも含め一切使用しないこと。跳躍、ソフトボール投げの練習については、公式練習のみとする。ハードル練習は9時より9時40分までメイントラックのみで可能とする。
- (3) 競技場内（メインスタンドを含む）には選手・役員・関係者以外は立ち入らない。  
選手・引率教師はメインスタンドを使用し、**応援保護者は、バックスタンドのみとする。**南側ゲートから入場。選手席への移動はできない。
- (4) 観覧の際は、前後左右の間隔を十分に取る。発声による応援は控え、拍手等で応援する。
- (5) 当日ゴミは各自で持ち帰る。感染防止のため施設内にゴミ箱はありません。各自で必ず持ち帰ってください。
- (6) 発病・負傷については、大会本部で応急処置はするがその後は各自で対応する。  
傷害保険に加入する。
- (7) 競技のために補助競技場、主競技場に入退場する場合は、所定ゲートで参加証（リボンビラ）の確認を受け入退場すること。  
主競技場、補助競技場への入退場は南側ゲート（駐車場より最寄り）のみ入退場ゲートとする。
- (8) 競技結果は放送で発表する。場内掲示はしない。競技結果はアスリートランキング（WEBサイト）に掲載する。
- (9) 貴重品の管理は、各自で責任をもって行うこと。拾得物については受付で保管する。
- (10) 応急処置を要する場合、その他健康上の問題が生じた場合は医務員に連絡すること。競技場での疾病、傷害等の応急処置は主催者で行うが、以後の責任は一切負わない。